

話し方はどうか
新出漢字

三回書いてみましょう。送り仮名を意識して読みを（ ）に書きましょう。

骸	歳	核	剣	詰	涙	驚	鮮	隠	悠	巧	朴	淡	互	扱	燥
ガイ	サイ (セイ)	カク	ケン	(キツ) つーめる つーまる つーむ	ルイ なみだ	キョウ おどろーく おどろーかす	セン	イン かくーす かくーれる	ユウ	コウ たくーみ	ボク	タン あわーい	ゴ たがーい	あつかーう	ソウ
骸	歳	核	剣	詰	涙	驚	鮮	隠	悠	巧	朴	淡	互	扱	燥
骸	歳	核	剣	詰	涙	驚	鮮	隠	悠	巧	朴	淡	互	扱	燥
丨	丨	一	ノ	、	、	一	ノ	フ	ノ	一	一	、	一	一	、
⑬ 蝶の死骸 (しがい)	⑮ 今年七歳になる (さい)	⑭ 核心をつかむ (かくしん)	⑬ 真剣勝負 (しんけん)	⑫ 切羽詰まる (せっぱつまる)	⑪ 涙ぐましい努力 (なみだ)	⑩ 結果に驚く (おどろく)	⑨ 野菜が新鮮だ (しんせん)	⑧ 月が隠れる (かくれる)	⑦ 悠然と歩く (ゆうぜん)	⑥ 技巧をこらす (ぎこう)	⑤ 素朴な外観 (そぼく)	④ 淡々とこなす (たんたん)	③ 交互に現れる (こうご)	② 取り扱い方法 (あつかい)	① 冬は乾燥する (かんそう)

話し方はどうか 詩の心―発見の喜び
その他の教科書に登場する漢字の読み

送り仮名を意識して読みを（ ）に書きましょう。

① 北陸 地方	(ほくりく)	①7 具体的な願望 がある	(がんばろう)
② 太平洋側	(がわ)	①8 力を呼び覚 ます	(さます)
③ 非常に暑い	(ひじょう)	①9 純真な子供	(じゅんしん)
④ 注意して行う	(ちゅうい)	②0 長い作業 時間	(さぎょう)
⑤ とても暖かい日	(あたたかい)	②1 日常風景	(にちじょう)
⑥ 起承転結	(きしょうてんけつ)	②2 見慣れた景色	(みなれた)
⑦ 大変重要な話	(じゅうよう)	②3 改めて報告する	(あらためて)
⑧ 明るい表情	(ひょうじょう)	②4 音に反応する	(はんのう)
⑨ 深く理解する	(りかい)	②5 表面的に感じる	(ひょうめん)
⑩ 話の内容	(ないよう)	②6 単純作業	(たんじゅん)
⑪ 皆に必要とされる	(ひつよう)	②7 感動的な映画	(かんどうてき)
⑫ しっかりとした土台	(どたい)	②8 雨の予感がする	(よかん)
⑬ 発言の機会を得る	(きかい)	②9 痛ましい事実	(いたましい)
⑭ 新しい工夫をする	(くふう)	③0 光景を思い浮かべる	(こうけい)
⑮ 特別な問題	(とくべつ)	③1 バスで移動する	(いどう)
⑯ 素直な発想	(すなお)	③2 不意に気付く	(ふい)

話し方はどうかな 詩の心―発見の喜び

新出漢字とその他の教科書に登場する漢字の書き

送り仮名を正しく書き、漢字に直しましょう。

① 冬は かんそう する (乾燥)	② 取り あつかい 方法 (扱い)	③ こうご に現れる (交互)	④ たんたん とこなす (淡々)	⑤ そば くな外観 (素朴)	⑥ ぎこう をこらす (技巧)	⑦ ゆうぜん と歩く (悠然)	⑧ 月が かく れる (隠れる)	⑨ 野菜が しんせん だ (新鮮)	⑩ 結果に おどろ く (驚く)	⑪ なみだ ぐましい努力 (涙)	⑫ せっぱ つまる (切羽詰まる)	⑬ しんけん 勝負 (真剣)	⑭ かくしん をつかむ (核心)	⑮ 今年 七さい になる (歳)	⑯ 蝶のしが い (死骸)	⑰ ほくり く地方 (北陸)	⑱ ひじ ように暑い (非常)	⑲ ちゅう いして行く (注意)	⑲ とても あたた かい日 (暖かい)	⑲ き しょうてんけつ (起承転結)	⑲ 大変 じゅう ような話 (重要)	⑲ 明 りい ひ ようじよう (表情)	⑲ 深 くり か いする (理解)	⑲ 話 の ない よう (内容)	⑲ 皆 に ひつ ようとされる (必要)	⑲ し っかりとした ど だい (土台)	⑲ 発 言の き かい を得る (機会)	⑲ 新 しいく ふう をする (工夫)	⑲ とく べつな問題 (特別)	⑲ す なおな発想 (素直)
-------------------------------	-------------------------------	-----------------------------	------------------------------	----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	------------------------------	-------------------------------	------------------------------	------------------------------	-------------------------------	----------------------------	------------------------------	------------------------------	---------------------------	----------------------------	-----------------------------	------------------------------	--	--------------------------------	---------------------------------------	--	--------------------------------------	-------------------------------------	---	---	---	--	-----------------------------	----------------------------

詩の心―発見の喜び

教科書に登場する漢字の書きの続き

送り仮名を正しく書き、漢字に直しましょう。

① 具体的な がんばろう がある (願望)	□ けんどう部 (剣道)
② 力を呼び さします (覚ます)	□ けんとう を重ねる (検討)
③ じゅんしん な子供 (純真)	□ きけん な場所 (危険)
④ 長い さぎょう 時間 (作業)	□ 大自然の きょうい (驚異)
⑤ にちじょう 風景 (日常)	□ きょうい を測る (胸囲)
⑥ みなれた 景色 (見慣れた)	□ 議題の かくしん (核心)
⑦ あらためて 報告する (改めて)	□ 合格を かくしん する (確信)
⑧ 音に はんのう する (反応)	□ 日々の技術 かくしん (革新)
⑨ ひょうめん 的に感じる (表面的)	□ たんじゅん 化する (単純)
⑩ たんじゅん 作業 (単純)	□ ふくぎつ な組み立て (複雑)
⑪ かんだうてき な映画 (感動的)	□ 目の前の こうけい (光景)
⑫ 雨の よかん がする (予感)	□ 心の じょうけい (情景)
⑬ いたましい 事実 (痛ましい)	□ 洗濯物が かわく (乾く)
⑭ こうけい を思い浮かべる (光景)	□ たがいの 立場 (互い)
⑮ バスで いどう する (移動)	□ あわい 期待 (淡い)
⑯ ふい に気付く (不意)	□ あぎやか な太刀筋 (鮮やか)